

第5次青梅市総合長期計画 チャレンジプログラムの検証

チャレンジプログラムの推進状況(抜粋)

「青梅の森」プログラム		安全・安心プログラム
展開	<p>「青梅の森」は新たに取り組むことになった事業であったため、チャレンジプログラムに位置付けることで、重点推進事業として計画的に取り組むことができている。</p>	<p>住宅・消防・防災・防犯・地域・学校・福祉全般・施設整備が参加し推進を図ることとしていたが、ハード事業とソフト事業とが横断的に連携するということが難しい。</p>
プログラム設定	<p>「青梅の森」という特定の事業区域に限定したことにより、地域特性やポテンシャルを見極めた事業の推進を図ることができる。</p>	<p>安全・安心は、あらゆる面において関連してくるものであることから、捉えるべき事業エリアが広がってしまい、プログラムとしての的を絞ることが難しい。</p>
進捗管理	<p>実施主体が明確であるため、プログラムの総合的な状況の集約が図れている。</p> <p>一方で、「青梅の森」自体が新たな事業展開であるため、横断的な取組による事業推進という面で課題がある。</p>	<p>個々の事業の実施に留まっている。</p> <p>東日本大震災に伴い、安全・安心の取組は最も重要な課題であることから、これを踏まえた取組は飛躍的に増加しており、現行の仕組みの中で集約化を図ることが難しい。</p>
推進体制	<p>公園緑地課・都市計画課 体育課・農林課 環境政策課・指導室 社会教育課</p>	<p>防災課・生活安全課 市民活動推進課・福祉総務課 高齢介護課・障がい者福祉課 施設課・建築営繕課・総務課 住宅課</p>